

全議員視察研修報告

(友好都市青森県三戸町親善訪問)

日時 平成30年10月15日(月)～10月17日(水)

研修先 ・青森県 三戸町 【小中一貫教育の取り組みについて】
【コミュニティバスについて】
・青森県 六ヶ所村 【原子燃料サイクル施設見学】
・岩手県 北上市 【議員定数・議員報酬の改定について】
【議会改革の取り組みについて】

青森県三戸町

青森県三戸町とは、旧榛原町との間で友好都市提携されて以来、教育文化、産業及び観光等の交流が盛んに行われている。

議会においても、互いに定期的に訪問し、交流を深めている

【小中一貫教育の取り組みについて】

児童生徒数の減少、施設の老朽化、中一ギャップにより不登校、学習意欲の低下などの解消策として、町内3つの小学校と、2つの中学校を小中一貫校として整備した。成果として、教育課程6・3制から、4・3・2制により、中一ギャップの緩和や、町独自の教科を設けるなど、新学習指導要領に対応し得る教育が先進的に行われていた。

【コミュニティバスについて】

子供から高齢者までの「移動の足」を確保するため、町内の路線バスとスクールバス及び患者輸送バスを一元化し「三戸町コミュニティバス」として平成25年度から導入した。

中学生以下は無料で、その他の町民は町内全域を100円で乗降できる。また運営主体が町であり、地域の実態で運行計画を策定している。またバス亭のないところでは手あげによりバスの乗降が可能となる区域もあり、町民の利便性は高い。

青森県六ヶ所村(原子燃料サイクル施設見学)

青森県六ヶ所村内の原子燃料サイクル施設(六ヶ所原燃PRセンター、低レベル放射性廃棄物埋設センター、ウラン濃縮工場)を視察した。

岩手県北上市

岩手県北上市議会は、2017年全国地方議会改革度ランキング全国32位、岩手県では第1位という議会改革の先進市議会である。また、住みやすさランキングでも岩手県内トップである。

【議員定数・議員報酬の改定について】

北上市議会は平成3年から段階的に定数と報酬が見直されており、報酬は増額へと推移している。

北上市議会で行われている議会報告会は「市民と議会をつなぐ会」と称して実施されており、今回のテーマを「これからの議員のあり方と議員報酬・定数について考える」とし、議員報酬を活動量にあった額にするための詳細な分析資料をもとに、市民に理解が得られる説明がされていた。

【議会改革の取り組みについて】

主にタブレット端末の導入について研修した。北上市議会は、タブレット端末導入に際し6年余りの歳月をかけ、検討してきた。その中で、タブレットの利用範囲を公務だけでなく政務活動でも使用できるよう、一部費用を政務活動費から支出している。また全議員でタブレット端末操作の研修を行うことにより、操作に対する不安感を払拭したため、導入反対等の意見は出されなかったという。導入の効果として、紙の大幅な削減となり、これにより当局の意識が変化したという。議員の使いやすさも考慮し、紙で残すものとタブレットに入れるものとの仕分けをしていた。

今後、当市議会でも導入を検討する際に大変参考になった。



三戸町との交流会の様子



北上市議会での研修